

# 平成22年度事業評価シート(ハード事業)

## 1 事業名等(Plan 1)

事業名	急傾斜地崩壊防止事業(負担金除く)					
所属名	基盤整備部 維持課 維持グループ					
第七次総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	分野	8	防災
予算科目	7	2	1	道路橋りょう総務費	72103	急傾斜地崩壊防止対策
				費		事業
				費		事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	急傾斜地崩壊対策5か年整備計画					
事業の実施主体	○ 市 市以外→					
事業の実施方法	直営 指定管理 業務委託 団体等補助 ○ その他→ 工事請負					

## 2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	土砂災害特別警戒地域で被害が甚大になると想定される箇所に住する市民、通過車両	受益者数	人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	急傾斜面の崩壊を防ぐ工事を行い崩土による被災を防ぐ		
概要	事業の実施手法、手順	重力式またはモタレ式擁壁を急傾斜面へ施工することにより崩壊土砂による被災を防ぐ		
概要	事業始期・終期	始期： 年度から 始期： 年度まで 設定なし ○		
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 計画に基づき早期に対策工事が実施できるよう事業の進捗を計る。			

## 3 事業費の推移・結果(Do)

### 【コスト面】

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)	35,000	40,000	42,000	24,000	42,000	
総合計画計画額(計画額)	30,000	30,000	42,000	24,000	42,000	
事業費	予算額	21,915	28,457	42,000		
	決算・見込	18,963	28,463			
財源	国庫支出金	予算額				
		決算・見込				
	県支出金	予算額	12,020	16,000	16,000	
		決算・見込	12,020	16,000		
	地方債	予算額				
		決算・見込				
その他	受益者負担	予算額				
		決算・見込				
	繰入	予算額				
		決算・見込				
一般財源	予算額	9,895	12,457	26,000		
	決算・見込	6,943	12,463			
H17国勢調査	96,231人	32,174世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価			
受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位 %	-	-			
市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位 円/人	197	296			
1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位 円/世帯	589	885			
受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位 円/人					
1 その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位 円/人					
	単位 円/人					

### 【成果面】

活動・成果指標	指標名	整備延長	資料・出展算出式					単位	m
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
活動指標	目標値	—	55	55	40	60	70	→	
	実績値	65	69						
	達成率	—	—						
成果指標	目標値	—	55	110	150	210	280	→	
	実績値	65	69						
	達成率	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

## 3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	急傾斜対策施設 擁壁工 法面工 落石防護柵工 (H17~H21 5か年)	119,675 千円
	事業費	(内容)測量業務・工事費 測量業務 18,000 千円 工事費 24,000 千円 その他	42,000 千円
	受益者負担	(内容)	0 千円
本年度	対象・手段	急傾斜対策施設 擁壁工 法面工 落石防護柵工	
	事業費	(内容)測量業務・工事費 測量業務 18,000 千円 工事費 24,000 千円 その他	42,000 千円
	受益者負担	(内容)	

## 【成果面】

進捗評価	項目	整備見込	55	／ 整備目標	55	単位	m	進捗率	100.00
	本年度	決算見込	—	／ 予算額	42,000	単位	千円		
	本年度までの累計	整備累計	0.00	／ 全体計画	280.00	単位	m	0.0	
進捗結果・理由	事業の進捗率の考え方	累計	—	／ 全計画額	156,000	単位	千円		
	理由	(整備済み延長÷全体計画延長)×100 測量業務は計画通り発注したが、工事発注を保留している。							
計画どおり		<input type="checkbox"/>							
未達成		<input checked="" type="checkbox"/>							

## 4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	急傾斜地における危険箇所に対し、崩壊に対処する施設を設置することにより、危険を緩和している。	判定 A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	目的評価 A
②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	急傾斜地の条件により構造が決定されること、基本的工種であることからコスト縮減は難しい。	項目 ②コスト面 増加 維持 減少	③成果面 拡大 維持 減少 コスト・成果ポジション B 第2水準
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	事業進捗により土砂災害に対する安全性が向上する。	拡大 1 維持 減少	

## 5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	計画どおり 改善・継続 終期設定 休止 廃止 完了	総合評価	コスト 中 成果 高 評価区分 II
施工箇所の選定と工法などを検討し、コスト縮減を検討する。		「I」の水準に向けた改善が必要	判断の理由及び課題問題点 ・急傾斜地区における人命や財産を守るためにも当該事業の計画的な施工は必要である。 ・県補助であるため予算規模により施工箇所が施工計画通りに進まず年度当初に見直す必要がある。
次年度実施方針 5か年整備計画に基づき実施する。			県補助金の確保について、動向を見極めるのは困難であるが、市民の安全確保の観点から現地をしっかりと確認し早期に対応が必要であれば、測量及び設計を実施し、県へは事業採択を強く働きかけていく必要がある。